

昭和大学大学院歯学研究科学位申請要項

- 1 【資格】本研究科に学位を請求する者は、所定の外国語試験に合格したうえ、次のいずれかの条件を満たしていなくてはならない。〔規程集Ⅶ-3、Ⅶ-6-10〕

甲：本学大学院歯学研究科において所定の単位を取得する見込みの者。

乙：基礎系 5 年、臨床系 6 年以上の研究歴を本研究科教授会によって認定された者（ただし、本学歯学部教育職員（助教以上：助教（員外）を含む）、歯学研究科大学院生、または特別研究生として 2 年以上在籍することを要する）。あるいは本学大学院歯学研究科を単位取得後退学して 2 年以内の者。

（特例）審査等に格別の事情がある場合には、大学院運営委員会の議を経て、研究科教授会の承認を得て、学位請求に必要とされる研究歴が満了する日の 3 か月前から論文を提出することができる。ただし、学位授与は必要研究歴満了後に行うこととする。

- 2 【研究歴の算定：乙のみ】研究歴は所定の算定基準によって運営委員会が算定し、研究科教授会が認定する。

- 3 【学位論文】英文のみとする。

単著論文を原則とするが、下記の場合には共著論文でもよい。

①学術雑誌に公表された原著論文（掲載が確定しているものを含む）で申請者が第一順位のもの。ただし、他のすべての共著者の同意を必要とする。

②研究科教授会でとくに認めたもの。

- 4 【副論文】審査に当たって参考にするため、主論文に関連する論文を副論文として添付することが望ましい。（2 編以上）※博士論文（乙）は必須。

※副論文とは、主論文に関連する論文で、申請者が筆頭著者・共著者に入っている論文を指す。

- 5 【外国語試験】原則として毎年度 1 2 月および 2 月に英語について行ない、60 点を合格点とする。1 2 月および 2 月の試験は大学院歯学研究科入学試験と同時に行う。

- 6 【論文審査】主任教授が主査 1 名、副査 2 名を運営委員会に推薦し、研究科教授会に諮る。論文受理後 1 年以内に行われる。

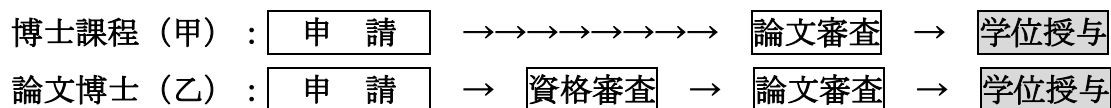
- 7 【試験】外国語試験のほか、甲の学位申請者に対して大学院修了にふさわしい学識があることを確認するための試験（最終試験）を、乙の学位申請者に対しては大学院修了者と同等以上の学識があることを確認するための試験（学識確認試験）を主査が行う。

- 8 【申請手続き】なお、申請手続きに必要な書類一式は本学ホームページ（学内専用）からダウンロード出来る。申請書類をそろえて学事部大学院係に提出する。

URL：http://www.showa-u.ac.jp/internal/admin/kyoumu/document/d-gakui_form.html

学 位 申 請 手 続

1. 学位授与までの流れ



資格審査と論文審査は同時申請可

2. 手続き：博士課程（甲）・論文博士（乙）それぞれの手順に合わせて下記書類等を学事部 大学院係に提出する。審査料は大学財務部経理課にて払い込み、領収書（学事部用） を添付すること。

3. 論文審査申請書類等 ※すべてA4サイズ、普通紙で印刷。

時期	提出書類	書類形式	甲	乙
申請時	1.研究歴算定願	所定様式	-	1部
	2.外国語試験合格証のコピー	所定用紙	1部	1部
	3.論文審査願	所定様式	1部	-
	4.学位申請書	所定様式	-	1部
	5.履歴書	所定様式 注2	1部	1部
	6.論文目録	所定様式 注3	1部	1部
	7.主論文	別刷または論文コピー 注3	5部 注1	5部 注1
	8.副論文（甲は無くても可，乙は2編必要）	別刷または論文コピー 注3	(5部) 注1	5部 注1
	9.論文内容要旨（1200字以内）	指定様式	4部	4部
	10.同意書(主論文が共著の場合)	所定様式	1部	1部
	11.掲載予定証明書 （主論文が未刊行の場合）	指定様式なし	1部	1部
	12.投稿証明書 （甲で，掲載予定証明書が無い場合） （乙は未刊行の場合，掲載証明が無いと申請不可）	指定様式なし	1部	×
	13.学位授与報告書	所定様式	1部	1部
	14.審査料納入書	所定様式	1部	1部
	15.昭和大学学術情報登録申請書	所定様式	1部	1部
資格審査	16.資格審査結果報告書	所定様式	-	1部
審査終了後	17.学位論文審査報告	所定様式	1部	1部
	18.論文審査の要旨(主査が作成)	所定様式	1部	1部
	19.最終試験の結果の要旨(主査作成)	所定様式	1部	-
	20.学識確認試験の結果の要旨(主査作成)	所定様式	-	1部

書類提出の仕方

※申請書類の「〇〇〇〇学」の欄は、下記表の専攻分野（科目）名を記入すること。

専攻	領 域	専 攻 分 野 （科 目） ※基礎系科目
歯 学 専 攻	歯科基礎医学系	口腔解剖学※ 口腔生理学※ 口腔生化学※ 口腔微生物学※ 歯科薬理学※
	口腔病態診断科学系	口腔病理学※ 歯科放射線医学
	歯科保存学系	歯科理工学※ 美容歯科学 歯内治療学 総合診療歯科学
	先端歯科学系	歯周病学 歯科矯正学 歯科補綴学 インプラント歯科学 口腔外科学
	全身管理歯科学系	歯科麻酔科学 総合内科学 高齢者歯科学 小児成育歯科学
	スペシャルニーズ口腔医学系	障害者歯科学 地域連携歯科学 顎関節症治療学 口腔リハビリテーション医学 口腔衛生学※ 歯学教育学※

2. 履歴書

- 1) 学歴は大学卒業の時点から記入し、大学院修了・中退などの場合も記入すること。
- 2) 外国の大学を卒業した者は、卒業までの学校教育の年限を計算するため別紙にその国の正規の学制を簡単に附記すること。
- 3) 研究歴は、無給で研究に従事する身分。本学の普通研究生・特別研究生に相当するもの。同期間の職歴より研究歴算定上優位な場合に記入する。
- 4) 職歴は、現職及び過去の教育研究職員の身分。本学の臨床研修医・助教（員外）あるいは臨床検査部技師など技術系の職種も含む。上記研究歴の欄に記載した期間と重複する場合は、原則として研究歴に記載した期間を優先して全研究歴を算定する。
- 5) 学歴の日付は学制上のものとする。たとえば、我が国では卒業の日付は卒業式の日ではなく **3月31日** である。その他の身分は実際の日付で書くこと。また、身分に変動が生じた日付も分かるように示すこと。たとえば、4月1日付で助教から講師に昇進した場合は、3月31日まで助教であったことを明記する。外国人等で卒業などの日付が我が国の慣習と異なる場合は、証明書記載の日付とする。年号には西暦を併記すること。

3. 論文目録 ※記載方法は、昭和歯学会投稿規定に準ずる。

- 1) 主論文は、題名(欧文のものには和訳を付けること)．著者名(共著者を含む)(欧文のものには和訳を付けること)．発表誌名．巻(号)：ページ(終わりのページも)．発行年(西暦)の順に記入すること。印刷中または掲載予定の場合は、発表誌名．巻(号)のあと、(印刷中)または(掲載予定)とする。共著の場合は、共著者全員の同意書を添付すること。
- 2) 副論文とは、主論文に関連する論文で、申請者が筆頭著者・共著者に入っている論文を指し、審査の参考として添付するものを指す。副論文は2編以上。博士論文(甲)は無くてもよいが、博士論文(乙)は必須。記載の仕方は主論文に準ずる。

4. 論文内容要旨

1200字以内、A4サイズ1枚に収まるように作成する。

5. 同意書

- 1) 題名が英文の場合は和訳を付けること。
- 2) 共著の場合、必ず全員の署名・捺印が必要です。（外国の方で印鑑がない場合は、署名のみでよい）
- 3) 必要に応じて、複数枚になっても構わない。

6. 学位授与報告書

氏名・ふりがな・性別・生年月日・現住所・学歴・博士論文名・公表（予定）年月日
（わかる範囲で記入）・公表内容・出版物の種類及び名称

書類は以下の 4 種類に分け、下記のように表記した封筒に入れてまとめて提出すること。

【主査】			【副査】			【副査】			【文部科学省】		
甲乙	申	学	甲乙	申	学	甲乙	申	学	甲乙	申	学
主	請	○ 位	副	請	○ 位	副	請	○ 位	文	請	○ 位
査	者	○ 申	査	者	○ 申	査	者	○ 申	部	者	○ 申
	氏	○ 請		氏	○ 請		氏	○ 請	科	氏	○ 請
	名	学 論		名	学 論		名	学 論	学	名	学 論
		文			文			文	省		文
主論文＊ 1 部			主論文＊ 1 部			主論文＊ 1 部			主論文＊ 2 部		
副論文＊ 1 部			副論文＊ 1 部			副論文＊ 1 部			副論文＊ 2 部		
論文内容要旨 1 部			論文内容要旨 1 部			論文内容要旨 1 部			論文内容要旨 1 部		
									残りの書類すべて		

- ▲ 主論文・副論文が刊行済の場合は別刷りを、未刊行の場合はオリジナルの図を添えた論文を 5 部提出する。未刊行論文は、それぞれの論文毎にホチキス止めすること。

別刷りができ次第、主査(1名)・副査(2名)に各 1 部、学事部大学院係に 2 部（1 部は国会図書館、1 部は大学保管）提出する。（学位授与後、6 か月以内）

- ▲ 封筒表書きの主査および副査の氏名は学事部大学院係で記入するので、空欄のまま提出すること。

7. 学位授与

- (甲) 秋季または春季修了式
- (乙) 論文審査のかかった次の教授会

※詳細な日時・集合場所については、後日学事部大学院係からご連絡いたします。

8. 問い合わせ（平日 8:30～17:00）

学事部大学院係（旗の台キャンパス 4 号館 1 階）

TEL 03-3784-8022

FAX 03-3784-8021

E-mail daigakuin@ofc.showa-u.ac.jp

報告番号 第 号

履 歴 書（記入参考例：甲）

ふりがな	しょうわ こうたろう	男 女
氏 名	昭和 甲太郎 印	
生 年 月 日	昭和 33 年 2 月 3 日	
現 住 所	東京都品川区旗の台 1 丁目 5 番地 8 号	
学 歴 平成〇〇（20××）年 3 月 31 日 昭和大学歯学部 卒 業 平成〇〇（20××）年 4 月 1 日 昭和大学大学院歯学研究科 博士課程 入学 平成 27 （2015）年 3 月 31 日 昭和大学大学院歯学研究科 博士課程 修了見込 研 究 歴 平成 〇〇（19××）年 4 月 1 日 昭和大学歯学部口腔解剖学教室・普通研究生 （19××年9月30日まで） 平成〇〇（20××）年 4 月 1 日 昭和大学歯学部口腔解剖学教室・特別研究生 現在に至る 職 歴 平成 〇（19××）年10月 1日 昭和大学歯学部口腔解剖学教室・助教 （19××年12月31日まで） 平成〇〇（19××）年 1月 1日 昭和大学歯学部口腔解剖学教室・講師 （20××年3月31日まで） 平成〇〇（20××）年 4 月 1 日 昭和歯科医院勤務		

報告番号 第 号

履 歴 書（記入参考例：乙 1）

ふりがな	しょうわ たろう	男 女
氏 名	昭和 太郎 印	
生 年 月 日	昭和 33 年 2 月 3 日	
現 住 所	東京都品川区旗の台 1 丁目 5 番地 8 号	
学 歴 平成〇〇（19××）年 3 月 31 日 昭和大学歯学部 卒 業 研 究 歴 平成 〇〇（19××）年 4 月 1 日 昭和大学歯学部口腔解剖学教室・普通研究生 （19××年3月31日まで） 平成〇〇（20××）年 4 月 1 日 昭和大学歯学部口腔解剖学教室・特別研究生 現在に至る 職 歴 平成 〇（19××）年10月 1日 昭和大学歯学部口腔解剖学教室・助教 （19××年12月31日まで） 平成〇〇（19××）年 1月 1日 昭和大学歯学部口腔解剖学教室・講師 （20××年3月31日まで）		

※他大学・他施設の学歴・研究歴・職歴については、証明書を添付してください。
身分によっては、規程等を提出していただく場合があります。

報告番号 第 号

履 歴 書（記入参考例：乙 2）

ふりがな	しょうわ じろう	男 女
氏 名	昭和 次郎 印	
生 年 月 日	昭和 33 年 2 月 3 日	
現 住 所	東京都品川区旗の台 1 丁目 5 番地 8 号	
学 歴 平成〇〇（19××）年 3 月 31 日 平成大学歯学部 卒業 研 究 歴 平成 〇〇（19××）年 4 月 1 日 平成大学歯学部口腔解剖学教室・研究生 （19××年3月31日まで） 平成〇〇（20××）年 4 月 1 日 昭和大学歯学部口腔解剖学教室・特別研究生 現在に至る 職 歴 平成 〇（19××）年10月 1日 平成大学歯学部口腔解剖学教室・助教 （19××年12月31日まで） 平成〇〇（19××）年 1 月 1 日 昭和大学歯学部口腔解剖学教室・講師（現在に至る）		

※他大学・他施設の学歴・研究歴・職歴については、証明書を添付してください。
身分によっては、規程等を提出していただく場合があります。

報告番号 第 号

履 歴 書（記入参考例：乙3）

ふりがな	しょうわ さぶろう	男 女
氏 名	昭和 三郎 印	
生 年 月 日	昭和 33 年 2 月 3 日	
現 住 所	東京都品川区旗の台1丁目5番地8号	
学 歴 平成〇〇（19××）年 3 月 31 日 昭和大学薬学部薬学科 卒業 平成〇〇（19××）年 4 月 1 日 昭和大学大学院薬学研究科修士課程入学 平成〇〇（19××）年 3 月 31 日 昭和大学大学院薬学研究科修士課程修了（修士（薬学）） 研 究 歴 平成 〇〇（19××）年 4 月 1 日 昭和大学歯学部口腔微生物学教室・普通研究生 （19××年3月31日まで） 平成〇〇（20××）年 4 月 1 日 昭和大学歯学部口腔微生物学教室・特別研究生 （19××年9月30日まで） 職 歴 平成〇〇（19××）年10月 1 日 昭和医療研究所 研究員（19××年12月31日まで） 平成〇〇（19××）年 1 月 1 日 昭和大学歯学部口腔細菌学教室・講師（現在に至る）		

※他大学・他施設の学歴・研究歴・職歴については、証明書を添付してください。
身分によっては、規程等を提出していただく場合があります。

論文目録（記入例）

報告番号	第	号	氏 名	昭和 甲太郎
主 論 文 題 名 The influence of denture supporting tissue properties on pressure-pain threshold - Measurement in dentate subjects -. (先頭以外は小文字) (義歯支持粘膜の性状が疼痛閾値に及ぼす影響 — 有歯顎者における測定 —). Showa K, Oooo O, Oooo O, Oooo O, Oooo O (書式を間違えないこと) (昭和甲太郎, OOOO, OO O, OOOO, OOOO) 掲載雑誌名 J Prosthodont Res (投稿中) (昭和歯学会投稿規定に準じる) 掲載・掲載予定 副論文 計 編 題 名 口腔粘膜の粘弾性測定に関する研究 — 荷重と粘膜厚さ変化量の同時測定手法の確立 —. OOOO, OO O, OOOO, OOOO, 昭和甲太郎 補綴誌, 2: 70-77, 2010 ※題名が英文の場合は和訳を付して下さい。 ※副論文は2種類以上提出して下さい。(乙では2編必要, 甲は無くても可)				

※記載方法は Dental Med Res に準じること。題名と著者名には日本語表記も併記すること。

論文審査委員	主査	専攻科目名	OOOO学	氏 名	OO	OO	教授
	副査	専攻科目名	OOOO学	氏 名	OO	OO	教授
	副査	専攻科目名	OOOO学	氏 名	OO	OO	教授・准教授

*准教授は副査1名まで

*学位論文の指導教員・共著者は主査・副査になれない。